

電車でのアクセス方法

- JR 中央線（各駅停車） 市ヶ谷駅から徒歩 2 分
- 地下鉄 有楽町線・南北線 市ヶ谷駅（A1-1）出口から徒歩 2 分
- 地下鉄 新宿線 市ヶ谷駅（A1-1・A4）出口から徒歩 2 分

お車でのアクセス方法

首都高速 5 号線飯田橋ランプまたは西神田ランプを降り
目白通りから九段下交差点を右折、
靖国通りを市ヶ谷方向に 1.2km 直進した右側がアルカディア市ヶ谷です。



第3回幹細胞クラブ

令和元年12月1日（日）

会場：アルカディア市ヶ谷

第3回幹細胞クラブ プログラム

開会の言葉

13:00-13:05

須田 年生 (NUS・熊本大学 IRCMS)

【セッション1】

13:05-14:05

座長 大根田 絹子 (東北大学 東北メディカルメガバンク機構) 梅本 晃正 (熊本大学)

O-01 「造血幹細胞エイジング」

岩間 厚志 (東京大学医科学研究所)

O-02 「造血幹細胞とニッチ細胞の維持機構について」

新井 文用 (九州大学医学部)

O-03 「整形外科と骨代謝」

宮本 健史 (熊本大学医学部)

O-04 「精子幹細胞のエピジェネティクス制御」

大保 和之 (横浜市立大学医学部)

O-05 「原始卵胞の維持、活性化機構の解析」

永松 剛 (九州大学医学部)

O-06 「造血幹細胞代謝の理解を高次元化する試み」

田久保 圭誉 (国立国際医療研究センター研究所)

コーヒーブレイク

14:05-14:15

【セッション2】

14:15-15:15

座長 松原 由美子 (慶應義塾大学) 小林 央 (国立国際医療研究センター研究所)

O-07 「Imaging metabolomics によるがん微小環境の代謝解析」

末松 誠 (慶應義塾大学医学部)

O-08 「幹細胞性を有する血管内皮細胞を用いた組織の再生と維持」

高倉 伸幸 (大阪大学微生物病研究所)

O-09 「Breaking (HSC) quiescence ～NUS 須田研での研究～」

石津 綾子 (東京女子医科大学)

○-10 「造血幹細胞とプログラム細胞死」

山下 真幸 (東京大学医科学研究所)

○-11 「膀胱がん発症におけるヒストン修飾因子 Kdm6a/Utx の機能解析」

本田 浩章 (東京女子医科大学)

○-12 「造血幹細胞運命決定を司る低分子代謝物の探索と疾病予防」

平尾 敦 (金沢大学がん進展制御研究所)

コーヒーブレイク

15:15-15:25

【セッション3】

15:25-16:20

座長 細川 健太郎 (九州大学) 生島 芳子 (国立国際医療研究センター研究所)

S-01 「OB 近況報告」(1人交代込1分 x 24人)

15:25-15:55

S-02 「幹細胞研究のゆくえ」

15:55-16:20

須田 年生 (NUS・熊本大学IRCMS)

感想・コメント

16:20-16:30

佐谷 秀行 (慶應義塾大学医学部)

栗原 裕基 (東京大学大学院医学系研究科)